

小学校国語科における想像を広げて読む力の育成
—読みの視点を取り入れたジグソー型学習を通して—

長期研修員 早川 留美子

研究構想図

想像を広げて読む力を身に付けた子

読みの視点を取り入れたジグソー型学習

個の読み



クロストーク

全員で伝え合う

ジグソーグループ

違う読みの視点で読んだ
他者と伝え合う

エキスパートグループ

同じ読みの視点で読んだ
他者と伝え合う

個の読み



〈児童の実態〉

読み方が分からない

一部の子の読みしか共有できない

読みが広がらない

〈教師の課題〉

教師の読みを中心に考えさせる

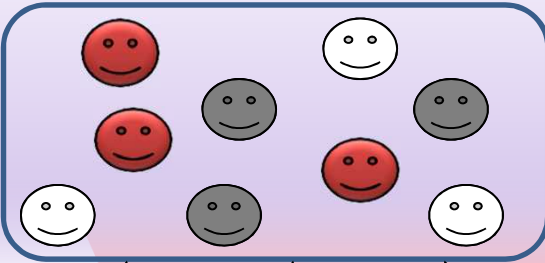
授業には限界がある

実践例：作者の思いについて話し合おう「ごんぎつね」(小学4年)

読みの視点を取り入れたジグソー型学習

個の読みを再構築

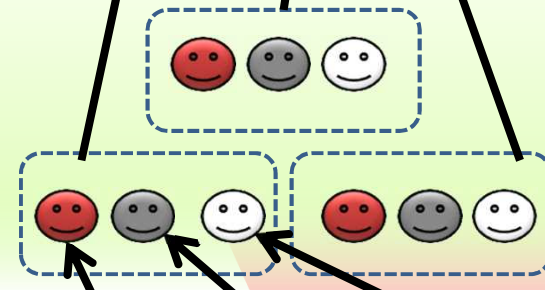
クロストーク



作者の思いは人それぞれにある

改めて深く分かり、すっきりした

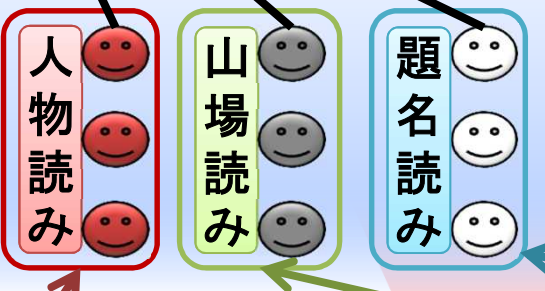
ジグソーグループ



同じ考えも違う考えもあってとても良かった


作者の思いを考えるっていいことだな


エキスパートグループ




考えが増えた

私と同じ視点で読んだ子はどんなこと考えたのかな？

どうしてその人物が中心人物なのか？ 

どうしてその場面が山場なのか？ 

どうしてこの題名が付いたのか？ 

個の読み

成果と課題

- 読みの視点で読み、他者と読みを伝え合って、想像を広げて読むことができた。
- 繰り返し積み重ねて学習していく必要がある。

提言

想像を広げて読む力を育てるには、読み方を意識して読ませること、児童の読みを信じて待つことが大切です。